

三栄会リハビリテーション科 導入機器のご紹介

当法人はリハビリテーションの質を高める取り組みの一環として、科学的根拠のある先進的なリハビリテーションを患者様に提供するため、以下の最新の治療機器を導入しております。

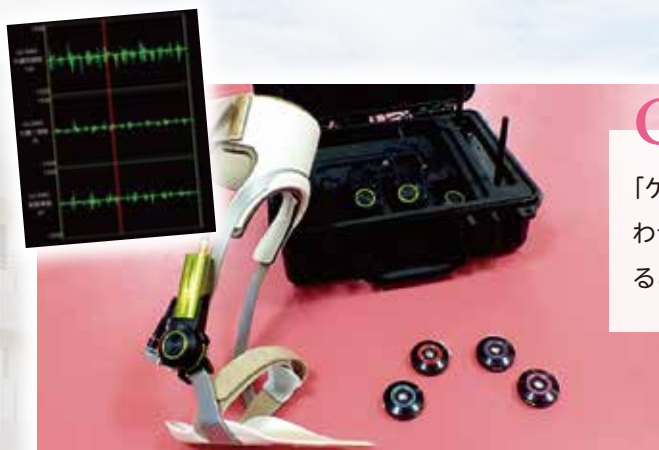
Wel Walk

ウェルウォークは、トヨタ自動車株式会社と共同開発された歩行介助ロボットです。早期より質の高い歩行練習がたくさん実施できる装置です。当法人では急性期から積極的に使用し、回復期へ移行しても途切れることなく治療を実施しています。



Gait judge system

「ゲイト=歩行」を「ジャッジ=判定する」機器です。筋電図と組み合わせることで、適切なタイミングで筋肉が動いているかを可視化することで、治療効果判定や治療アプローチの一助として使用します。



zaRitz

株式会社 TANITAで開発された運動機能分析装置です。転倒予防など個々の患者様の問題点に特化した治療を展開することが可能となります。



mediVR カグラ

仮想現実(VR, Virtual Reality)技術を応用したリハビリ医療機器です。座位で行うため、安全性も担保されています。現在、注目されている最新医療機器です。





IVES

患者様の麻痺した筋肉の微弱な活動を電極で感知し、電気刺激を筋肉に与え、運動機能改善を補助する機器です。脳卒中で麻痺した腕や指などに使用し、科学的根拠がある治療として注目を集めています。

日常生活動作シミュレータ

入浴・トイレ動作などの練習ができる装置です。手すりの位置が自由に調節でき、自宅環境に合わせて入院早期から実施します。また、福祉用具の導入や住宅改修のサポートにも役立てることができます。



舌圧測定器

舌の運動機能を測定する機器で口腔機能のスクリーニングとして使用します。



嚥下造影検査(VF・VE)

嚥下動態や適切な食形態・姿勢を評価、診断する検査です。



ジェントルステイム

電気刺激により喉の筋肉を刺激し、嚥下機能を高める治療機器です。これらの機器を急性期から積極的に使用し、患者様の「食べる能力」を最大限に引き出しています。

